

関東大震災下、朝鮮人・中国人・社会主義者虐殺100カ年弾劾!

「防災訓練」＝治安出動・内乱鎮圧 訓練を粉碎しよう

9都県市合同防災訓練粉碎闘争実行委員会
連絡先 東京都杉並区下高井戸1-34-9
TEL 03-3329-0165

「防災訓練」とは「防災」に名を借りた治安出動訓練だ

本日9月1日、相模総合補給廠一部返還地及び相模原スポーツ・レクリエーションパークを中心会場に、9都県市合同防災訓練が強行されようとしています。自衛隊・警察の大規模な出動の下、政府・行政機関主導で民間企業を動員して開催されようとしています。

この「防災訓練」とは治安出動・内乱鎮圧訓練に他なりません。関東大震災時に出動した軍隊や警察が真っ先に行つたのは多くの朝鮮人・中国人虐殺であり、社会主義者・無政府主義者の拘束・虐殺でした。95年阪神大震災時に自衛隊がまずとった行動は、被災者の救助などではなく警察署の防衛と金融機関の警備でした。2011年東日本大震災時も自衛隊や警察、そして「トモダチ作戦」と称して出動した米軍は、何よりも治安維持を主目的とし、被災労働者人民を監視下におきました。「防災訓練」とは軍隊・警察による治安出動・内乱鎮圧に労働者人民を動員するための攻撃です。これを絶対に許してはなりません。

労働者人民の戦時動員を見据えた「避難訓練」・「救助訓練」

相模原での訓練では、消防・警察・海上保安庁・自衛隊（陸・海・空）・在日米陸軍などが共同で訓練を行うとしています。バケツリレーによる初期消火などに小学生（高学年）を動員し、初期消火、簡易担架作成、応急救護などの訓練に自主防災隊をつくり動員しようとしています。また、①その場に合った身の安全の確保（「3つの安全行動」と称して館内放送等での訓練開始合図で一斉に素早く机などの下に身を収める「シェイクアウト訓練」）、②出口（避難路）の確保、③火の始末、の3つの行動を実施する訓練を「さがみはら1分間行動訓練」として、当日午前9時に市内で一斉に実施するとしています。これは、「災害時1分間を重視し、落ち着いた行動を促す『1分間行動訓練』を行い、自助、共助意識の向上を図っていく」ものです。第2次世界大戦時の空襲警報と避難行動を彷彿させます。このような政府・行政主導の一連の訓練が、全国で強行されています。

4月以降、防衛省・政府は朝鮮民主主義人民共和国によるロケット発射を、差別主義・排外主義をむき出しにしながら「ミサイル発射」と煽って「全国瞬時警報システム（Jアラート）」の発令を頻発しています。このJアラート発令を合図に、労働者人民に避難行動を強制する「防空演習」が強制されています。「防災訓練」と「防空演習」は表裏一体のものです。戦争動員を見据え、戦争協力を促す攻撃を許してはなりません。

関東大震災下、朝鮮人・中国人・社会主義者虐殺100カ年弾劾

100 年前（1923 年）の関東大震災時に 6000 人以上の朝鮮人や 800 人以上の中国人、社会主義者・無政府主義者が虐殺されました。天皇（摂政・ヒロヒト）が戒厳令を発令し、それと並行して「火災の多くは不逞鮮人（ママ）の放火または爆弾の投擲によるもの」という流言を意図的にばらまき、警官が「朝鮮人は殺しても構わない」と触れ回りました。戒厳令を準備したのは内務大臣水野鍊太郎、警保局長後藤文雄、警視総監赤池濃らでした。水野や赤池は 1919 年の 3・1 独立運動を闘った朝鮮労働者人民への血の弾圧の首謀者でした。日本帝国主義支配階級は、3・1 独立運動をはじめとした日帝植民地化に対する朝鮮労働者人民の流血を恐れぬ決起に恐怖と憎悪をたぎらせ、同時に在日朝鮮人と日本の労働者人民との結合した決起を恐れたのです。軍隊は被災地に駆けつけるや、朝鮮人とみなした人々を手当たりしだいに虐殺しました。警察は保護と称して朝鮮人や社会主義者を拘束し虐殺しました。

また、治安弾圧機関は各町村当局に在郷軍人や消防手、青年団からなる自警団を形成するよう指示しました。在郷軍人とは、日清戦争、日露戦争に出兵し、3・1 独立運動をはじめ、日帝による支配に抗する闘いに決起した多くの朝鮮人を虐殺した兵士たちです。この自警団があらゆる武器で武装し朝鮮人・中国人を虐殺しました。当時、治安弾圧機関は朝鮮植民地支配や労働者への搾取に抗する朝鮮人を「不逞鮮人」と呼んでいました。

軍隊・警察による「不逞鮮人が襲ってくる」というデマによって恐怖をうえつけられた住民もまた、自警団とともに虐殺に手を染めました。こうしたことを二度と繰り返してはなりません。政府・行政機関のいう「自主防災組織」は、新たな「自警団」形成へと導くものです。絶対に許してはなりません。

差別主義・排外主義を粉碎しよう

現在、日帝の侵略戦争や植民地支配の歴史を直面し正当化しようとする動きが強まっています。日本会議を構成するファシストを先頭に、日本軍「慰安婦」強制や植民地支配下からの強制連行—強制動員の事実を抹殺する教科書攻撃がかけられています。さらに、昨年 6 月には最高裁が群馬県高崎市の「群馬の森」公園に設置された朝鮮人追悼碑の撤去を事実上認める決定を行いました。この設置不許可を群馬県に働きかけたのは「そよ風」というファシスト団体です。「そよ風」は関東大震災時に虐殺された朝鮮人を追悼するために建てられた東京・横網町公園の朝鮮人犠牲者追悼碑も撤去させようとしています。東京都知事・小池もそよ風らファシストと連携して追悼式典への追悼文送付を拒否し続けています。そして、「そよ風」と関係が深い在特会（日本第一党）は「悪い朝鮮人も良い朝鮮人も殺せ」と煽動しながら各地で襲撃を行っています。

昨年銃撃死した安倍晋三は、日帝の朝鮮侵略・植民地化は「正しかった」と主張して、朝鮮人・中国人一数千万アジア人民虐殺の歴史の直面を最先頭で進めてきました。岸田は安倍をひきつづき、日本軍「慰安婦」を強制された女性たちや強制連行された朝鮮労働者人民の闘いを憎悪をもって潰してきました。「台湾有事」を煽って改憲・戦争突撃する岸田連合政府を打倒しましょう。

100 年前の朝鮮人・中国人虐殺は決して過去のことではありません。歴史的事実を隠蔽し、再び虐殺に手を染めることを許してはなりません。差別・排外主義攻撃と対決し、「防災訓練」＝治安出動・内乱鎮圧訓練を粉碎しましょう。